

陳情文書表

【令和5年6月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
令和5年6月2日	陳情第2号	徳島市末広4丁目4-23 徳島県生活と健康を守る会連合会 会長 井出 幸夫	文教厚生 常任委員会
<p>(件名・要旨)</p> <p>物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書を国へ送付することを求める陳情書</p> <p>【陳情の趣旨】</p> <p>41年ぶりの物価高騰は、全ての国民の生活を苦しめています。夏には今年の商品の値上げ品目が累計で2万品目を超えると見込まれ、さらなる長期化も予測されています。</p> <p>厚生労働省は、2023年度の生活保護費を据え置き、公的年金支給額を低い伸びに抑えたため、実質的引下げとなりました。1973年のオイルショックの際には、数回にわたり保護費引上げや手当支給が行われました。</p> <p>生活保護費引下げの取消しを求めた裁判で、大阪、熊本、東京、横浜、宮崎、青森、和歌山、埼玉の8地方裁判所が原告の訴えを認めました(2023年3月末現在)。国は判決に従い直ちに保護費を引下げ前(2012年)に戻すべきです。</p> <p>また、生活保護基準は様々な制度の土台となっているため、その基準は生活保護を利用していない多くの国民にも多大な影響を及ぼします。国民生活全般を支えるためにも、物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書を国に上げてください。</p> <p>【陳情の項目】</p> <p>物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書を国へ送付すること。</p>			